

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プラムだいすき			
○保護者評価実施期間	2025年1月28日 ～ 2025年3月5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年2月7日 ～ 2025年3月5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(環境・体制整備) ・子どもたちが活動するのに十分な部屋数とスペースを確保している。 ・職員は、常に基準数以上配置している。	・子どもたちが分かりやすく利用しやすいように、表示と名称をつけている。 ・優先的な利用の仕方は提示してあるが、利用者の希望に沿って、柔軟に対応するようにしている。 ・職員は常に、子どもたちのことを目を離さずに、見守れるようにしている。 ・子どもたちの受入れ前後には取っ手や教材等も含めて、清掃、消毒、整理整頓に努めている。	(環境・体制整備) ・さらに、より良いサービス提供ができるように、職員の増員へ向けて公共職安等へ働きかけを進める。
2	(業務改善) ・毎朝の打合せや定期的な会議を設けている。 ・長期休業中は記録簿の回覧や伝言板を用いて情報の共有化を図っている。 ・保護者から評価をもらっている。 ・職員へ研修会等受講を促している。	・職員が運営に参画できるようにして。職員の参画意識は高い。 ・保護者からいただいた評価や意見を業務に反映させている。 ・全職員で課題について話し合い、改善策を出している。 ・職員研修は出張扱いとし、費用は法人がもつことを原則としている。研修後は伝達講習会を実施し、研修内容の共有化を図っている。	(業務改善) ・研修会等への参加を進め、更に職員の支援力を高める。
3	(適切な支援の提供) ・利用している子どもの実態や課題の把握、支援内容や方法の整理に努めている。 ・活動が硬直化したり、偏ったりしないようにしている。	・実態や課題は、日々の観察や記録、打合せでの振り返りによって確認している。保護者から提供される発達検査等の結果も参考にしている。 ・個別に見直しながらその子に合った対応を心掛けている。 ・リトミック・パステルアート・エアロビクス教室など、外部講師を招聘して活動を行っている。野外での活動も取り入れている。 ・長期休業中には、体験的な活動を多く計画し、取り入れている。	(適切な支援の提供) ・活動の目標、目的、内容、方法、評価について集団内での個別化を進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(施設設備) ・事業所施設は、バリアフリー、ユニバーサルデザインになっていない。	・賃貸施設としての限界	
2	(家族支援) ・保護者会を設置していない。 ・ペアレントトレーニング、利用者家族や利用者家族間の積極的な支援を行っていない。 ・家族参加の行事を行っていない。	・現事業所開設の折のアンケートで、設置を望まない保護者がいましたのでそのままにしました。開設から満5年経ちました。保護者会設置について、保護者の皆様のご意見を、もう一度、伺ってみようかと思っています。 ・家族参加の行事は、土・日・祝日の開催が考えられる。	・どのような活動、行事が考えられるだろうか。 ・従業員の勤務体制から土曜、日曜、祝日の行事開催は難しい。 ・家族参加の行事の場合、事故等の対応はどのようにするか。
3	(移行支援、地域交流) ・他の学童クラブなどとの交流活動は行っていない。 ・地域住民との積極的な交流は図っていない。	・交流は、相互に益が生じるよう計画的な取り組みが必要である。	・近隣地域の公共施設利用に取り組んでいる。 ・事業所側から地域への働きかけや出かけていく取り組みが必要。(近隣での清掃活動の実施、地域行事への参加、公民館まつりへの参加、他の放デイとの交流など)